

2024年4月1日より事前予約不要

患者さんとの面会方法が 変更になります

4月より、当センターに入院されている患者さんとの面会方法が変更になりました。これまでの面会制限に関しまして、患者さんやご家族の皆さまには、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

面会についての詳しい情報は、当センターホームページをご覧ください。



面会について

**患者さんを感染から守るために
下記のことを必ずお約束ください**



	一般病棟 (中央館)	産科・小児科 (南館)	ICU・CCU・SCU 救急病棟 (中央館1館) NICU・GCU (南館)
時間	面会時間 15:00 ~ 19:00		
年齢制限	小学生以下 面会不可 <small>患者さんへの感染予防のため、お子様をご遠慮いただいております。 ご理解・ご協力をお願いします。</small>	直接お問い合わせ ください	面会を制限して おります 直接お問い合わせ ください
受付	1階 中央館エレベーター前	直接南館へ 産科：4階エレベーター前 小児科：5階エレベーター前	
方法	面会カードを記入いただき、面会シールを貼って病棟へお上がりください。 面会カードは、ナースステーションへお渡しください。	面会カードを記入いただき、インターフォンでお知らせください。 面会カードをナースステーションへお渡しください。 面会シールをお渡しします。	夜間・休日の 自動扉施錠について 平日 18:00 から翌朝 7:30 まで、土日祝日は、終日施錠しています。 御用の際は、北出口・南出口よりインターホンで守衛にお知らせください。

当センターには重症化リスクの高い患者さんが多く来院・入院されています。ご来院いただく際には、感染拡大を防ぐために、引き続きマスク着用のご協力をお願いいたします。

周囲の方に感染を広げないために



ご自身を感染から守るために



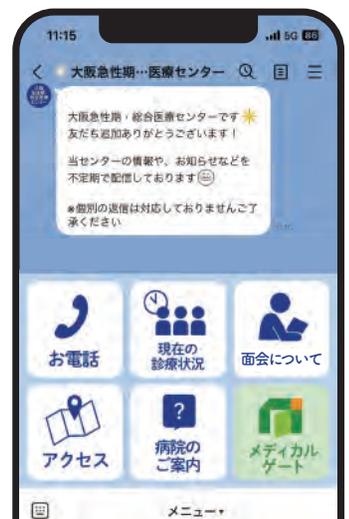
やすらぎ通信

大阪急性期・総合医療センター

第137号
SPRING

2024年4月1日発行

公式LINEを開発しました！
悪天候による診療状況の変更、当センターの重要なお知らせ、イベント情報などを月2回程度お送りします。





食物アレルギーのおはなし

食物アレルギーとは

食物アレルギーは、摂取した食物に対してからだの中で免疫反応が起こり、からだのさまざまな部位にアレルギー症状が起こる現象です。免疫反応の起こり方にはIgEという免疫グロブリンが直接関与するものと、そうではないものがあります。いわゆる卵アレルギーやナッツアレルギーなどはIgEが関与する食物アレルギー（IgE依存性食物アレルギー）で、今回はこちらのお話を取り上げます。

原因食物とアレルギー症状

食物アレルギーはどの年齢でも起こりますが、小児期とくに乳児期に多いと言われています。全国エコチル調査では1歳児で7.6%、2歳児で6.7%、3歳児で4.9%と報告されています。それなりの子どもが経験することになります。子どもの食物アレルギーの主な原因食物は鶏卵、牛乳、小麦ですが、最近木の実や落花生、魚卵や果物なども注目されています。

IgE依存性食物アレルギーには、即時型症状（食べてから2時間以内に起こる反応で、皮膚が赤くなったり蕁麻疹ができたり、咳や喘息のような呼吸器症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、循環器や神経の症状がでる）が有名ですが、他にも食物依存性運動誘発アナフィラキシー（食物摂取だけでは症状は起こらないが、食物摂取後に運動すると症状がでる）、口腔アレルギー症候群（食物摂取直後から唇、口腔内のかゆみ、のどの違和感がでる）、食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎があります。

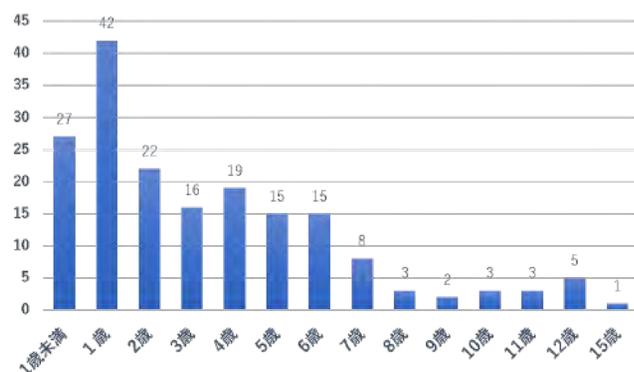
食物経口負荷試験

食物アレルギーの診断には、できるだけ具体的に食べた食品や量、いつ、どこで、どんな症状がでたかを確認して、血液検査で特異的IgE抗体価を調べ（必要時皮膚テストも）、食物経口負荷試験を行うことで確定診断をしていきます。食物経口負荷試験は、どの食物が原因かを診断するとともに、安全に食べられる量を決めたり、アレルギーがよくなってきているかを確認めたりする目的で行います。食物アレルギーでは必要最小限の食物除去とすることが大切で、成長に伴って食べられるようになることも多いので、定期的に小

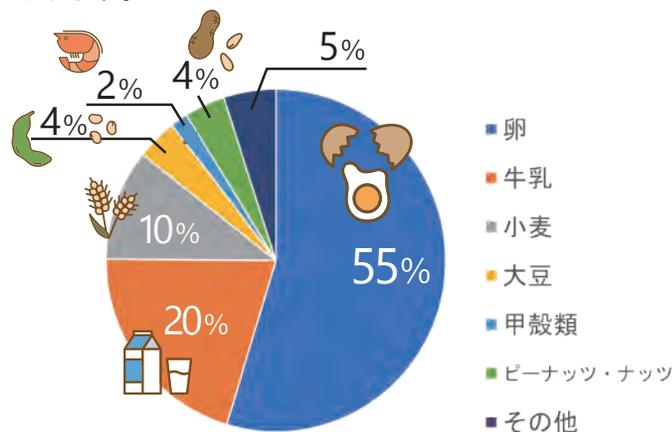
児科を受診し、必要に応じて経口負荷試験を受けることが重要です。

当センターでは日帰り入院で食物経口負荷試験を行っています。2022年度に行った負荷試験の年齢分布を見てみると、1歳が最も多く、3歳までで約半数を占めています。

食物経口負荷試験：年齢別内訳



負荷試験を行った食材を見てみると、鶏卵、牛乳、小麦、大豆、ナッツ類、甲殻類の順に多いことがわかります。



食物を摂取した後、数分～数時間以内に、皮膚症状だけでなく、呼吸や循環、消化器、神経などの全身の症状がでる状態をアナフィラキシーと言います。さらに血圧低下や意識障害を伴う場合はアナフィラキシーショックと言います。アナフィラキシーを起こしたことがある場合には、学校や園での対応を相談し、病院外でアナフィラキシーが起こった場合の対処法（アドレナリン自己注射（エピペン））を知っておく必要があります。

子どもの食物アレルギーが疑われる場合には是非小児科にご相談ください。

NICU・GCU主任 小村恵美

NICU・GCU 病棟は、2018年「大阪府市共同 住吉母子医療センター」の設立を機に小児科病棟から独立し、今年で6年目を迎えました。



今回、NICU・GCU 病棟についてご紹介させていただきます。

NICU（新生児集中治療管理室）では、在胎週数 32 週以降の早産児や、体重 2200g 未満の低出生体重児、または何らかの疾患のある赤ちゃんを受け入れ、集中的に治療・管理を行っています。GCU（新生児回復室）では、NICU で治療を受け、状態が安定してきた赤ちゃんのケアを引き続き行いながら退院準備を行っています。

NICU・GCU では、新生児科の目標「Baby First（すべては新生児第一に）」を大切に、赤ちゃんの看護を行っ

ています。赤ちゃんのストレスを最小限に抑え、お母さんのお腹の中の状態にできるだけ近づけるために、光の照度を抑え、音の静かな環境作りや体位の工夫を行う“ディベロップメンタルケア”に力を入れています。また、NICU・GCU に入院となったことで母子分離状態にあるお母さんの不安軽減に向けて、家族看護にも力を入れています。

産科病棟に入院中のお母さんは 24 時間面会が可能で、出生後早期からタッチングや抱っこなどで赤ちゃんに触れてもらい、カンガルーケアを行うなど親子で過ごす時間を大切にしています。お母さんとのふれあい（母児接触）は、赤ちゃんにとってとても大切なケアの一つです。そしてもう一つ、赤ちゃんの成長に欠かせない大切なものは栄養です。

赤ちゃんにとっての栄養は、母乳

と人工乳です。なかでも、母乳は消化吸収に優れ、感染予防にもなり、赤ちゃんの成長に必要な成分に富んだ理想的な栄養です。そのため、NICU・GCU ではお母さんに母乳育児の希望を伺い、産科病棟と連携して母乳栄養が確立できるように支援をしています。

これからも「Baby First（すべては新生児第一に）」を大切に、赤ちゃんが家族の待つ自宅へ一日でも早く退院できるように、スタッフみんなで楽しく頑張っていきますのでよろしくをお願いします。



管理栄養士の

ちょっと
おいしい話

絹さやと豆腐の卵炒め

作り方

1. 豆腐はラップをせずに、電子レンジ（600W）で約 2 分間加熱する。粗熱が取れたら、ペーパータオルで全体をふいて水きりをする。
2. 人参は短冊切り。チンゲン菜は一口大に切る。絹さやはヘタと筋を取り、半分に切る。
3. フライパンにごま油を中火で熱し、人参・チンゲン菜・絹さやの順で入れて炒める。
4. 豆腐を大まかにちぎりながら加え、強火にする。時々、木べらで豆腐を軽く押さえつけながら、炒め合わせる。
5. 豆腐に薄い焼き色がついたら、こしょうを加えて混ぜ、しょうゆをフライパンの周りから回し入れて、混ぜ合わせる。
6. 溶き卵を全体に流し入れ、強火のまま、卵が半熟状になるまで炒める。



栄養量

エネルギー	211kcal
たんぱく質	14.5g
脂質	15.1g
食物繊維	2.6g
食塩相当量	1.3g

材料

2人前

具材

木綿豆腐	200g
絹さや	30g
人参	50g
チンゲン菜	70g
卵	2個
ごま油	大さじ1
しょうゆ	大さじ1
こしょう	少々

POINT

春に旬を迎える食材を使用した彩り豊かなレシピです！春の食材で、季節の味覚を楽しみましょう♪様々な野菜を加えてアレンジも可能です。



文責：栄養管理室



今どきの、 がん放射線治療と がん予防

放射線治療科主任部長 島本茂利

4/30まで期間限定配信

5問の事前アンケートにご協力をお願いします



当センターの診療科が
ピックアップ掲載中!

Hospitals File

ホスピタルズ・ファイル

- 生殖医療センター
- 乳腺外科
- 遺伝診療センター



クレジットカード、スマートフォンをお持ちの方が対象です。ご利用には条件があります。

お手持ちの**クレジットカード**を
スマホから、

次回の診察から登録するだけで

ファイル提出後 帰宅OK!!



本館1階 メディカルゲート窓口まで

受診予約の 変更について

下記の9診療科を対象に、
電話で診察時間の予約の変更
ができます。ただし、紹介予
約の変更はできません。

- | | |
|-------|------------|
| 呼吸器内科 | 皮膚科 |
| 消化器内科 | 糖尿病内分泌内科 |
| 形成外科 | 耳鼻咽喉・頭頸部外科 |
| 脳神経内科 | 腎臓・高血圧内科 |
| 脳神経外科 | |

tel: **06-6692-1201**

月～金曜日 14:00～16:00
(年末年始・祝日除く)

医療相談 コールセンター

患者さんやご家族などから
の医療や病院利用に関するご
相談窓口として「医療相談」
コールセンターを開設してお
ります。

受診の相談、退院に向けて
の相談、がん相談などにご利
用ください。

医療相談専用電話

06-6692-2800
06-6692-2801

月～金曜日 9:00～17:00
(年末年始・祝日除く)

患者さんの 病状説明について

当センターの患者さん
患者さんのご家族対象

厚生労働省の「働き方改革」
の趣旨に基づき、緊急でない
患者さんへの病状説明（イン
フォームド・コンセント）等
は、原則、平日の診療時間内
に行っております。

なお、診療上、主治医が判
断した場合は、この限りでは
ありません。

より良い医療を提供するた
め、皆様のご理解とご協力を
お願いいたします。

